

1. 名称	
東京医科大学病院後期臨床研修プログラム家庭医専門医コース	

2. プログラム責任者	
氏名	平山 陽示
連絡担当者	原田 芳巳

3. 専攻医定員
1年あたり（ 2 ）名

4. プログラムの構成
<p>■単独プログラム：</p> <p>家庭医療専門研修Ⅰ（診療所・中小病院）（ 18 ）カ月（18カ月以上、12カ月以上は同一施設で連続して研修） 家庭医療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）（ 6 ）カ月（6カ月以上）</p> <p>■連動プログラム：</p> <p>総合診療専門研修プログラムと同時研修で、 家庭医療専門研修Ⅰ（ 12 ）カ月、 家庭医療専門研修Ⅱ（ 6 ）カ月 家庭医療専門研修プログラムの追加分において、家庭医療専門研修Ⅰ（ 6 ）カ月</p>

5. 概要
<p>A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長 東京医科大学病院（当院）は特定機能病院でありながら、新宿区、中野区、杉並区、渋谷区、世田谷区の一部の住宅地を診療圏として抱えており、地域の拠点病院としても機能している。しかし、当院には救急外来を中心に、高度に細分化された専門科診療では対処できない患者さんが少なからずおり、総合診療科（当科）ではこうした患者さんを中心に広く全人的医療を展開している。また、当科は医学部学生や初期臨床研修医、薬剤師レジデント等を対象とした教育に携わる機会も多く、教育を通じた多くの学びの場が存在する。</p>
<p>B. プログラムの理念 総合診療専門医プログラムで不足している分野を補足強化し、高度なレベルの家庭医療専門医を育成し、わが国の医療体制に貢献する。</p>
<p>C. 全体的な研修目標</p> <p>（1）家庭医療専門医の質の向上を図り、以て、国民の健康・福祉に貢献することを第一の目的とする。 （2）地域で活躍する家庭医療専門医が、誇りをもって診療等に従事できる専門医資格とする。特に、これから、家庭医療専門医資格の取得を目指す若手医師にとって、夢と希望を与える制度となることを目指す。 （3）我が国の今後の医療提供体制の構築に資する制度とする。</p>
<p>D. 各ローテーション先で学べる内容や特色 初期研修の際に十分に研修できなかった、あるいはさらに研修したい領域の内科の臓器別診療科や感染症科のラウンドができる。将来、就職する診療所の立地条件に応じて家庭医のニーズは異なってくる。後期研修医ひとりひとりの希望と必要に応じて研修を選択できる。渡航者医療センターでの研修が可能で、最近希望の多い海外渡航前後の家族ぐるみの相談にも対応でき、海外での家庭医も目指せる。</p>
<p>E. 指導体制に関する特長 本プログラムでは、当科のみならず院内各専門科の医師やコメディカルスタッフ、周辺の各地域医療機関の協力のもと、様々な医療現場で、細やかなフィードバックを受けながら研修できる環境を整えていることが特徴である。</p>

F. 医療専門職、保健・福祉専門職の協力を得る方法

当科のみならず院内各専門科の医師やコメディカルスタッフの協力を得ながら診療を行っている。

G. 地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法

対外的には当院の総合相談・支援センターに医療ソーシャルワーカーが常駐し、近隣の医療関係、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者の協力を得やすい環境にある。また、連携施設における各科で個別に委員会を設置するのではなく、専門研修基幹施設で開催されるプログラム管理委員会に専門研修連携施設の各科の指導責任者も出席する形で、連携施設における研修の管理を行う。

H. その他

近隣の総合診療科（川崎市立多摩病院、立川相互病院、東京慈恵会医科大学第三病院、聖路加国際病院、東京医科大学八王子医療センター）と年に数回症例検討会、小講義を行っている。また、国内外の家庭医療、総合診療、感染症などの専門家を招いて勉強会を開催している。

6. 研修施設

6-1. 家庭医療専門研修Ⅰ

川崎医療生活協同組合協同組合 あさお診療所
河北サテライトクリニック家庭医療学センター
大島医療センター

6-2. 家庭医療専門研修Ⅱ

東京医科大学病院
聖路加国際病院
立川相互病院

6-3. 領域別研修：その他（選択）

研修領域	研修期間	研修施設名
内科	6か月	東京医科大学病院総合診療科
小児科	3か月	東京医科大学病院小児科
救急	3か月	東京医科大学病院救命救急センター
精神科/心療内科	1か月	東京医科大学病院メンタルヘルス科
皮膚科	1か月	東京医科大学病院皮膚科
臨床検査	1か月	東京医科大学病院臨床検査医学科
リハビリテーション	1か月	東京医科大学病院リハビリテーションセンター
消化器内視鏡	1か月+1日/週	東京医科大学病院内視鏡センター

「新・家庭医療専門医制度」については日本プライマリ・ケア連合学会のHP <https://www.shin-kateiryu.primary-care.or.jp/> も参照してください。